成果の説明書

(氏名)阿部圭司	(学部)経済学部
1 重要事項 ■研究活動 (1)研究論文 出版された研究論文なし。(a)アナリスト予測の合成に関するデータ分析が進んでおり、ひとまず計算は終了しているが原稿は未完成。(b)共著で大学生の金融リテラシーに関するアンケート調査とそれに基づく論文を執筆中。 (2)書籍 共著で金融リテラシーに関する書籍を執筆中。2019年度秋に発刊予定。 (3)外部研究機関との連携 群馬経済研究所と連携した研究会を2018年度は4回開催した。 ■教育活動 ゼミナールにて、日経 STOCK リーグへ参加した。2018年度は5チームが予選を通過したが入賞は果たせなかった。また、高大連携事業の一環として、高崎経済大学附属高校2年生とのコラボゼミを1年間実施し、1チームが入選した。 ■その他 【学内】研究科長(2017/4～)として大学院運営(教務、入試等)に携わった。 【学内】地域科学研究所主催の公開講座を担当(「証券と経済発展」) 【学外】渋川市、高崎市で各1件委員会にて委員を担当 【学外】ラジオ高崎にてラジオゼミナールに出演	
2 その他の事項 なし	
3 次年度以降の計画・抱負 研究面では引き続き、予測の合成に関する研究を進める予定。金融リテラシーに関する研究では、2019年度も被験者を変えてアンケート調査を実施予定である。群馬経済研究所との研究会では分析手法をテーマとして数回の研究会の実施を予定している他、県内企業を対象とした調査も計画している。この他、数件単独、共同研究の動きがある。 教育面では大教室で行う講義の工夫として、リアルタイムアンケート、クリッカーアプリを利用してみた。いくつかのトラブルもあったが、実用性に耐えるものであることが確認でき、またアンケート調査の際にも役立った。今後もこれらのツールを活用しつつ、学生の参加意識を向上させる努力をしたい。	